

## 洋書輸入協会会報

VOL. 14  
NO. 6

(通巻158号) 昭和55年 6 月

## 理 事 会 報 告

4 月25日(金)

- (一) 5 月12日の総会の運営について打合せた。
- (二) 55年度関西支部選出理事は緑書房一社のみと関西支部から報告があった。
- (三) 普通会計から特別会計への振替えについて、5 月に割引興業債券を30万円購入することとした。
- (四) 学協会委員会から、化学情報協会の事後処理に関する

作業は順調に推移している旨の報告があった。

(五) その他。

5 月12日(月)

- (一) 総会および懇親パーティーの進行について打合せた。
- (二) 4 月分収支計算・予算対比表検討の上承認。
- (三) ウェザーヒル出版社より協会の退会届が提出された(6 月30日付)。なお新会社アカデミック プレス ジャパンが新規に入会する予定とのこと。

## 定 時 総 会 報 告

昭和55年度定時総会は 5 月12日(月) 2 時から 6 時まで学士会館において開催された。

定刻司会者栗原光輝氏(洋販)の開会の辞ののち、寺久保事務長から正会員86社中出席40社(そのごさらに 3 社が出席)委任状提出31社合計71社で総会が成立した旨の報告があった。準会員の出席は 2 社、賛助会員は 6 社であった。恒例により新会員の紹介にうつり、文生書院(小沼良成氏)、エルビス(館正彦氏)、アシェット・ジャポン(細谷愛子氏)が紹介された(カンダ・ブック・トレーディングおよびCBS インターナショナル・パブリッシングは欠席)。

ついで理事長代理福田忠氏(丸善)から大要次のような挨拶があった。「OPEC諸国による石油の大幅値上げ

によるインフレの進行、それに伴う高金利——とくに米国の——が世界の一般的傾向となっていた。外国為替では円安がつづいた。高金利と円安、コスト上昇で業界は苦しい状況におかれている。通関統計によれば、前年比 99%、金額、数量ともに減少している。最近米国の金利がさがりはじめ、円高になってきたとはいえ、相場場の不安定が経営をむずかしくしている。顧客へのサービスを完璧なものにし、需要の落ちこみをカバーして、マーケットを拡大するのは業者の任務である。きびしい局面ではあるが、会員相互の親睦をはかりながら、日本文化の進歩・発展のために頑張っていきたい。全員一致の体制のもとに協会を発展させていきたい。」

福田理事長代理はついで理事会の活動について、月 2

|                     |                          |                                     |
|---------------------|--------------------------|-------------------------------------|
| 理事会報告…………… 1        | Book Review No.67…………… 3 | 外国出版社紹介 No.71…………… 5                |
| 定時総会報告…………… 1       | 海外ニュース…………… 4            | 総代理店ご案内…………… 5                      |
| 会員紹介 (株)エルビス…………… 3 | 来日外人名簿…………… 4            | 広告 ユナイテッド・パブリッ<br>シャーズ・サービス社…………… 6 |

回の定例理事会のほかに臨時の理事会もひらいて理事会として活動してきたこと、オーストラリア出版界の代表者との会談、西独図書展への協力、化学情報協会関連の問題と一段落したことを報告したが、詳細は「会報の理事会報告およびついでおこなわれる委員会報告にゆづった。

ついで委員会報告にうつり、総務(丸善大野俊氏)、企画開発(USACO山川隆雄氏)、会報編集(極東書店一条元美氏)、渉外PR(洋販栗原光輝氏)、ダイレクトリィ(東光堂石内茂吉氏)、洋書交換(国際書房服部貞夫氏)、雑誌(日本出版貿易岸恒雄氏)、文教(紀伊国屋書店吉本明城氏)、通関(紀伊国屋書店佐野秀夫氏)、学協会(三洋出版貿易鈴木常夫氏)、文化厚生(鈴木常夫氏)の各委員長からそれぞれの一年間の活動および今後の課題について報告された。この報告については出席者から質問が提起され、意見の開陳がおこなわれた。

ついで54年度決算報告が大野氏によりおこなわれ、山縣有光氏(内外交易)および佐野正司氏(南江堂)の監査報告ののち、拍手で可決、承認された。

ついで役員選挙にうつり、議長福田氏から選挙管理委員として、トッパン(渡辺弘之氏)、UPS(上杉勝良氏)、第一出版貿易(佐々木太刀夫氏)、東亜ブック(鶴三郎氏)、白鷗洋書(秋山昭夫氏)、内外交易(山縣彌栄子氏)、福本書院(福本和子氏)の七社を委嘱した。投票後一時休憩ののち、UPS上杉氏から投票の結果が発表された。当選者はつぎのとおりである。

理事 投票総数71票 有効71票

|      |        |
|------|--------|
| 洋 販  | 東光堂    |
| 極東書店 | 国際書房   |
| 丸 善  | 紀伊国屋書店 |

三洋出版貿易 USエシアテック

日本出版貿易 次点UPS

関西支部選出

緑書房

監事 投票総数72票 有効70票

南江堂

内外交易

次点 医学書院

関西支部選出

オーヴィス

総会を一時休憩し、新理事会が開催され、丸善が理事長に選出された。福田氏から「JBIAもここまで発展してきたが、こんごも健全に発展していきたいと旨の挨拶があった。ついで大野氏から昭和49年以来据置きになっている会費を「健全な会の運営のために」約20%程度値上げしたい旨の提案がおこなわれ、拍手で可決・採択された。関西支部の活動が文書によって報告されたのち、大野氏の説明による55年度予算案が拍手により可決・承認された。関西支部の54年度決算、55年度予算の両案も可決、承認された。大野氏によりこんごの会費の問題について、B会員の会費を来年度から原則として二年間毎年¥1,200ずつ値上げしてAB会員を一本化することの提案がなされた。さいごに相良氏が「JBIAのメンバーをめぐる環境はいよいよよきびしい。こんごも親睦の実をあげていきたい。新会員の増加にみられるようにJBIAの活動も一般的に認められてきている。長時間の真剣な討論に感謝する、旨をのべ、総会をとじた。

6時すぎからは懇親パーティーにうつり、メクレンブルグ商会鈴木和夫氏の音頭によって乾盃したのち、宴をひらき、なごやかな談笑がつづいた。



## 会員紹介(準会員)

### 幅広く人文関係を中心に

(株)エルピス 代表者 館 正彦

エルピスとは聞いた事もあるような名前ですが、ギリシャ語で「希望」という意味だそうです。代表者の館 正彦氏は、北海道は小樽市生まれで現在38才、札幌市で高校まで育ち、大学は東京をとり超えて京都の同志社法学部を卒業後、銀座の老舗、教文館に入社されている。以後10数年洋書一筋に励み、神田教文館を経て、1977年10月、独立してエルピスを創業された。

現在従業員は4名、専門分野は古代(ギリシャ・ローマ)より現代まで、広く人文関係を中心としている。当面の課題は、新しい販売組織作りに全力をあげる事で、業界に対しては、会員の一員たる責任を微力ながらも会員の皆様の御指導のもとに果して行きたいということです。入会は、福本書院さんと、神田教文館さんの推せんによっています。

## Book Review No.67

### 小林善彦著 「パリ日本館だより」

中公新書 No.540 183頁 340円

“本に関する本、そしてなるべく新刊であること”これがこの欄でとりあげる本の原則的な条件である。あえて、その条件を無視して本書をとりあげる所以は、洋書輸入という商売柄、欧米人と接触すること多いと思われる同業の皆さんに、是非この本を読んでいただきたいと思うからである。

1976年から二年間、パリ大学国際都市にある日本館の館長をつとめた著者が、その体験を綴ったもので、「フランス人つきあう法」という副題がついている。しかし、フランス人とはあまりつきあったことのない筆者にも、読んでいて胸に思いあたる節も数多く、結局ラテンもアングロサクソンもヨーロッパ人であることに変わりはなく、その発想法を知らずにいると、とんでもない誤解におちいることになるし、又逆に、その点を理解し合うことが、より良き相互理解の道につながるもとである、ということを改めて考えさせられる。

日本館で、日本と外国の留学生が一緒にパーティをやる。ところが、それが終わった後の片づけ仕事をするのはいつも日本人だけである。見かねた小林館長は、率先して掃除を手伝ってみるが、その効果もない。ついに業を惹やして、外国人留学生の一人に苦情を云う。すると彼氏曰く「パーティが終ると、日本人はさっさと掃除をはじめてしまい、我々には何も云わない。」呆れた小林館長が「いい年をしたあなた方に、いちいちそんなことまで云わなければならないのか。」と問うと、さらに彼氏曰く「ムッシュー、あなたは実にジャポネ(日本的)だ。日本人は話さずに分かり合うらしいが、ヨーロッパではそれは通じない。物事ははっきりと云わなければ駄目です。」それ以来、日本の学生委員長が命令し、指揮をとり、全員で後片づけをするようになったという。

引用したい挿話は数多いが、この欄にはとてもそのスペースがない。西欧は随分身近になったと考え勝ちの我々に、色々な意味で「西欧と日本」の違いを教えてくれる、これは貴重の一冊である。(K.S.)

## 海外ニュース

### 「ロングマン社の業績」

Longman Holdings Ltd. の1979年度の総売上高は38.54百万ポンドで、課税前利益は8.44百万ポンドであると発表された。ちなみに1978年の売上高は41.5百万ポンドで、課税前利益は10.16百万ポンドであった。

Longman 社は、英国の大出版の中では特異な地位を占めており、輸出ないし海外市場での売上げが、全体の約70%に達している。1979年の売上げのうち4百万ポンド以上が中東およびインド、同じく4百万ポンド強が日本および極東、4百万ポンド弱が西欧、約5百万ポンドがアメリカおよび中南米で得たものである。

昨年はナイジェリアの子会社を手離したため、約4.5百万ポンドの売上げを失ったにもかかわらず上記の業績を挙げ得たのは、不振な英国出版界にあっては、ひとときわ好調と目されている。

(The Bookseller、5月3日号より)

### 「米国マクミラン社の新社長」

去る4月に David J. Culbertson 氏が、Macmillan,

Inc. の社長に就任した。同氏は1972年から1975年までは Xerox Education Group の社長、1975年から1978年まで Xerox Information Products Group の副社長をつとめ、またそれ以前は IBM の取締役であった人である。

なお、1966年に Macmillan 社に入り、1976年から社長をつとめた Robert Barton 氏はすでに退社した。

(BP Report より)

### 「バンダム社社長がランダムハウス社へ」

Bantam Books の社長で出版者の Mare Jaffe 氏は、5月9日にその職を退き、5月12日付で Random House Inc. の副社長兼 Ballantine Books の副社長・編集長に就任した。

Jaffe 氏は1961年に副社長兼編集担当重役として Bantam 社に加わり、1967年に筆頭副社長、1978年に社長に就任、ペーパーバック出版界ではその力量と手腕をうたわれた人である。今後は Ballantine のペーパーバック出版と Random House の一般書の振興に力量を発揮することになる。

(BP Report より)

—— 紀伊國屋書店提供 ——

## 来日外人名簿

5月上旬 Mr. Michael Virtue, Director, Virtue & Company Ltd. Surrey

" Mr. Douglas Davidson, Market Development Manager, Thos. Nelson & Sons, Middlessex

" Mr. Michael Pearman, Sales Manager, Wm. Heinemann Medical Books Ltd. London

" Mr. Gallman, Director, Indiana University Press, Honolulu

5月中旬 Mr. Leslie Rayner, Applied Science Pub., Barking

" Mr. Jackson, Editor, Elsevier, Amsterdam

5月下旬 Mr. Gerhardt Kurtze, Grossohaus Wegner & Co., Hamburg

" Mr. Birtles, Sales Manager, Wm. Collins, Glasgow

## PERGAMON PRESS (パーガモン プレス)

PERGAMON という名前は、小アジアにあったギリシャの都市ペルガモンからとられたものである。ペルガモンは美術、知識のさかんであった町で、パーガモンの社マークは、紀元前 400 年に発掘されたコインをデザインしたものである。パーガモン・プレス社の歴史は、もともとシュブリンガー社とバターワース社が合併で1948年に設立したものだが両社の経営方針が折り合わず結局は現在パーガモンの会長であるロバート・マックスウェルに売却されることになった。マックスウェルは、出版界で異色の人物と知られているが、チェコスロバキア生れで、戦乱の道をバリまで歩き、その後英国陸軍に入隊、退役時に前述のパーガモンプレスを買収し現在、科学・技術出版社としては世界でも有数なパーガモン・プレスを創りあげた手腕の持主である。

マックスウェルが1951年にパーガモンを買いとった年には 5 冊の雑誌を発行していたのみであるが、現在のパーガモン・プレスはオックスフォード本社に編集

スタッフ、印刷工場員を含めて1200名の社員がおり、ニューヨーク支社には 240 名、その他、ドイツ、フランス、カナダ、オーストラリア支社等を含めるとほぼ 2000名の社員となる。1980年の雑誌の発行種類は380、本は年間約 400 冊の割で発行されている。オックスフォード本社での作業はすべてコンピューター化され、月間約 5 万件のオーダーを受け20万冊の本を出荷している。パーガモンプレスは出版情報業の多角化という方向に進んでおり、現在すでに学術雑誌のマイクロフィルムの供給では米国パーガモンはすでに大手業者となっている。この他、英国では教科書出版・販売会社ウィートンを持っており、最近ではさらに情報業化を進めるため米国、首都ワシントンに PIIC (パーガモン・インターナショナル、インフォメーション、カンパニー) を設立し、パテント・企業情報を提供する会社を設立している。パーガモン・プレスは、特に80年代においては、日本と中国に重点を置いた営業展開をするとしている。

### 総代理店ご案内

次の通り日本総代理店のご案内がございました。  
お手許の Agent List にご記入願います。

(株) 穂高書店

☎ 263-7601

|                                                        |        |
|--------------------------------------------------------|--------|
| Steingass, F.—Arabic-English Dictionary.               | ¥5,900 |
| Steingass, F.—English-Arabic Dictionary.               | ¥3,600 |
| Steingass, F. Ph. D.—Persian-English Dictionary.       | ¥9,700 |
| Wollaston, Arthur N.C.I.E.—English-Persian Dictionary. | ¥6,500 |
| Sheikh, F. L.—Modern Arabic Reader.                    | ¥950   |

資料研究所

☎ 834-4361

Pharma prospects. (M)

Pub. SCRIP

一般購読者.....¥810,000

SCRIP 購読者.....¥648,000

### DIRECTORY 正誤表

DIRECTORY 1980. 41頁 (株)友隣社

Blg. name 追加 サトービル

Tel. No. 訂正 814-0275

《アメリカ図書館協会編纂》

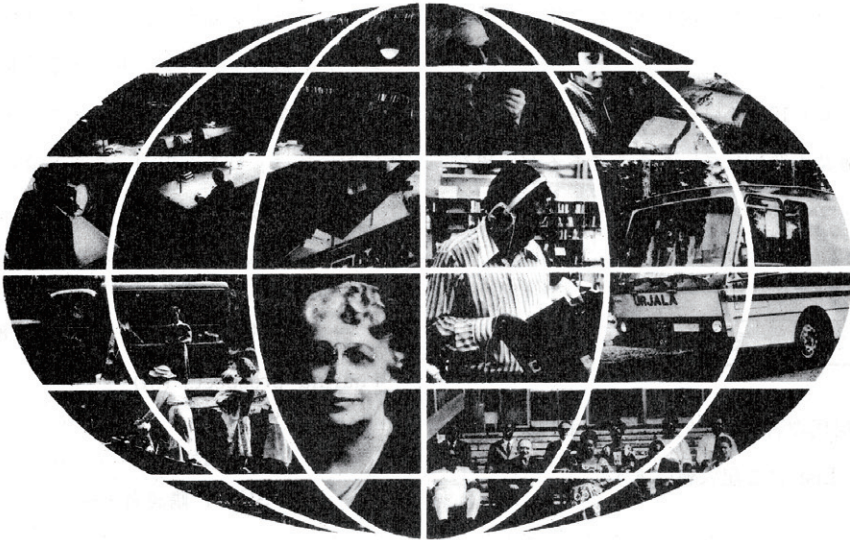
## 世界図書館・情報サービス百科事典

# ALA World Encyclopedia of Library and Information Services

8½"×11"・600ページ・70,000語・図版300以上・相互索引 定価27,200円

- 世界162ヶ国の図書館界の現状と成果を総覧する待望の画期的百科事典です。
- 各国の国立図書館、公共図書館、大学図書館、専門図書館、学校図書館、特殊図書館などについて、設立の目的、サービス、蔵書、管理、評価、図書館法などを記述しています。
- 図書館学の理論と実際面では、“目録作業”、“分類”、“図書の保存と管理”、“館外活動”、“図書館哲学”、“レファレンス・サービス”、“児童サービス”など25項目。／図書館員の教育と研究については、“司書資格認定”、“比較図書館学教育”、“研修制度”、“レファレンス・サービス教育”など10項目。／国際機関として、IFLA(国際図書館協会連盟)、FID(国際ドキュメンテーション連盟)、ICA(国際文書館委員会)など28項目。／図書館学の発展に特に貢献した172名の人名録を取めています。
- 図書館学・情報文献の重要性が求められる今日、必携の参考図書として是非お備え下さるようお勧めいたします。

American Library Association



日本総代理店

ユニテッド・パブリッシャーズ・サービス社

(102) 東京都千代田区  
麹町4-1 志村ビル

昭和55年6月 通巻第158号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

〒103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

〒530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎ 371-5329